

法 令 試 験 問 題

事業者名 及び 受験者氏名		採点	
---------------------	--	----	--

(注意事項)

1. 本問題中「事業者」とあるのは、「一般貸切旅客自動車運送事業者」を指します。
2. 設問の文中には、条文の一部を省略しているものもあります。

【○×問題】

次の文章で正しいものに○印、間違っているものに×印を記入しなさい。

1 点 × 2 0 = 2 0 点

- (1) 道路運送法で「旅客自動車運送事業」とは、他人の需要に応じ、有償で、自動車を使用して旅客を運送する事業をいう。
()
- (2) 事業者は、旅客に対する取扱いその他運輸に関して苦情を受け付けた場合には、法令に掲げる事項を営業所ごとに記録し、かつ、その記録を整理して六ヶ月間保存しなければならない。
()
- (3) 旅客自動車運送事業者は、自動車が転覆し、死者又は重傷者が生じた事故等、国土交通省令で定められている一定の事故を引き起こした場合については、二十四時間以内に事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならないが、速報を行った場合については、事故の日から三十日以内に行う自動車事故報告書の提出を省略することができる。
()
- (4) 「輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドライン」は、旅行業者、地方自治体、学校関係者等の利用者に貸切バス事業者の選定に際して、単純な価格比較での選定を促すことを目的としている。
()
- (5) 事業者は、旅客の運賃及び料金を定め、あらかじめ、国土交通大臣に届け出なければならない。
()

(6) 事業者が、その事業計画を変更しようとするときに、認可を受けなければならない場合がある。では、下記の中で認可を必要とする事項を選び、該当する事項には○印を、そうでない事項には×印を記入しなさい。

- ①営業区域の変更 ()
- ②営業所の位置の変更 ()
- ③営業所ごとに配置する事業用自動車の数の変更 ()
- ④自動車車庫の位置及び収容能力の変更 ()
- ⑤主たる事務所の位置の変更 ()
- ⑥休憩仮眠施設の規模の変更 ()
- ⑦事業休止の再開 ()

(7) 事業者は、営業所ごとの配置車両が十両を超えた場合のみ、安全統括管理者を選任しなければならない。

()

(8) 事業者は、事業用自動車の運転者が乗務した場合は、当該自動車の平均速度、運行距離及び運行時間を運行記録計により記録し、かつ、この記録を一年間保存しなければならない。

()

(9) 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運行ごとに、運行の開始及び終了の地点並びに日時、運行に際しての注意箇所の位置など、法令に定められた事項を記載した運行指示書を作成し、運転者に適切な指示をし、携行させなければならない。

()

(10) 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運送約款を変更するときは、三十日前までに届け出なければならない。

()

(11) 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者が退職等により運転者でなくなった場合には、直ちに、当該運転者に係る乗務員台帳に運転者でなくなった年月日及び理由を記載し、これを三年間保管しなければならない。

()

(12) 事業者は、運行管理者資格者証の返納を命ぜられ、その日から二年を経過しない者であっても運行管理を補助させるための者であれば、選任することができる。

()

(13) 旅客自動車運送事業者は、事業報告書及び輸送実績報告書を毎年5月31日までに管轄する運輸支局に提出しなければならない。

()

- (14) 事業者は運行管理者を選任した場合に届け出なければならないが、運行管理を補助する者を選任した場合はこの限りではない。

()

【選択問題】

次の文章の () の中にあてはまる言葉を下から選び、記号を記入しなさい。

1点×17＝17点

- (1) 一般旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車が転覆し、() を起こしその他国土交通省令で定める () を引き起こしたときは、遅滞なく事故の種類原因その他国土交通省令で定める事項を国土交通大臣に届出なければならない。

ア. 所有権 イ. 運行管理者 ウ. 出発地 エ. 保安基準 オ. 運行の安全
カ. 技術の向上 キ. 火災 ク. 利益 ケ. 迅速 コ. 走行距離
サ. 重大な事故 シ. 運営を適正 ス. 目的地 セ. 点検 ソ. 継続
タ. 営業所 チ. 公害の防止 ツ. 適切な時期 テ. 公共の福祉 ト. 保護
ナ. 乗務員の服務

- (2) 旅客自動車運送事業者は、毎事業年度の経過後 () 以内に、輸送の安全に関する基本的な方針その他の輸送の安全に係る情報であって国土交通大臣が () で定める事項について、インターネットの利用その他の適切な方法により () しなければならない。

ア. 十五日 イ. 三十日 ウ. 六十日 エ. 百日 オ. 一年
カ. 法 キ. 公表 ク. 告示 ケ. 通達 コ. 命令
サ. 省令 シ. 報告 ス. 指導 セ. 届出 ソ. 回答

- (3) 貸切バス車両の点検整備記録簿の保存期間は、その記載の日から () 年間と定められている。

A. 1 B. 3 C. 5

- (4) 旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の1日の拘束時間は13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は () とすること。

A. 15時間 B. 16時間 C. 17時間

- (5) 一般貸切旅客自動車運送事業の標準運送約款には、旅客は、運転者が行う運送の安全確保のための職務上の () に従わなければならないことが規定されている。

ア. 案内 イ. 命令 ウ. 指示

(6) 一般旅客自動車運送事業者は、()により、旅客の運送をしなければならない。

ア. 車両に乗り込んだ順序 イ. 運送の申込みを受けた順序 ウ. 運賃等を支払った順序

(7) 一般旅客自動車運送事業を営もうとする者は、国土交通大臣の()を受けなければならない。

ア. 承認 イ. 許可 ウ. 免許

(8) 一般旅客自動車運送事業者は、一般旅客自動車運送事業の健全な発達を()結果を生ずる競争をしてはならない。

ア. 助長する イ. 阻害する ウ. 確保する

(9) 旅客自動車運送事業運輸規則は、旅客自動車運送事業の適正な運営を確保することにより、輸送の安全及び()を図ることを目的とする。

ア. 事業者の利便 イ. 従業員の利便 ウ. 旅客の利便

(10) 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者等が事業用自動車の運行の業務に従事したときは、運転者等の氏名等の事項を運転者ごとに記録させ、かつ、その記録を()保存しなければならない。

ア. 六ヶ月間 イ. 一年間 ウ. 三年間

(11) 一般旅客自動車運送事業者の譲渡及び譲受は、国土交通大臣の()を受けなければ、その効力を生じない。

ア. 許可 イ. 認可 ウ. 承認

(12) 旅客自動車運送事業者は、死傷者又は負傷者が生じた事故を引き起こした運転者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣の認定を受けた()を受けさせなければならない。

ア. 指導教育 イ. 健康診断 ウ. 適性診断

(13) 貸切バスの運転者は、事業用自動車の故障等により踏切内で運行不能となったときは、速やかに旅客を誘導して退避させるとともに、()に対し適切な防護措置をとらなければならない。

ア. 旅客 イ. 列車 ウ. バス

- (14) 一般貸切旅客自動車運送事業の許可を受けようとする者が旅客自動車運送事業の許可の取消しを受け、取消しの日から()年を経過していない者に対しては、国土交通大臣は一般貸切旅客自動車運送事業の許可をしてはならない。

ア. 一 イ. 二 ウ. 三 エ. 四 オ. 五

【筆記問題】

1点×3＝3点

- (1) 事業者が自動車の外側に必ず表示しなければならない事項は、使用者の氏名、名称又は記号のほか何か。1つ記入しなさい。

答. _____

次の文章の()の中にあてはまる語句を回答しなさい。

- (2) 旅客自動車運送事業者は、その運行管理者に対し、省令に掲げる業務の適確な実行及び()の遵守について適切な指導監督をしなければならない。

答. _____

- (3) 事業者は、自動車の点検をし、及び必要に応じ整備をすることにより、当該自動車を()に適合するように維持しなければならない。

答. _____

法 令 試 験 問 題 模範解答

事業者名 及び 受験者氏名		採点	
---------------------	--	----	--

(注意事項)

1. 本問題中「事業者」とあるのは、「一般貸切旅客自動車運送事業者」を指します。
2. 設問の文中には、条文の一部を省略しているものもあります。

【○×問題】

次の文章で正しいものに○印、間違っているものに×印を記入しなさい。

1点×20＝20点

- (1) 道路運送法で「旅客自動車運送事業」とは、他人の需要に応じ、有償で、自動車を使用して旅客を運送する事業をいう。(道路運送法第2条)
(○)

- (2) 事業者は、旅客に対する取扱いその他運輸に関して苦情を受け付けた場合には、法令に掲げる事項を営業所ごとに記録し、かつ、その記録を整理して六ヶ月間保存しなければならない。(運輸規則第3条)
(×)

- (3) 旅客自動車運送事業者は、自動車が転覆し、死者又は重傷者が生じた事故等、国土交通省令で定められている一定の事故を引き起こした場合については、二十四時間以内に事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならないが、速報を行った場合については、事故の日から三十日以内に行う自動車事故報告書の提出を省略することができる。(事故報告規則第4条)
(×)

- (4) 「輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドライン」は、旅行業者、地方自治体、学校関係者等の利用者に貸切バス事業者の選定に際して、単純な価格比較での選定を促すことを目的としている。
(×)

- (5) 事業者は、旅客の運賃及び料金を定め、あらかじめ、国土交通大臣に届け出なければならない。(道路運送法第9条の2)
(○)

(6) 事業者が、その事業計画を変更しようとするときに、認可を受けなければならない場合がある。では、下記の中で認可を必要とする事項を選び、該当する事項には○印を、そうでない事項には×印を記入しなさい。(道路運送法第15条)

- ①営業区域の変更 (○)
- ②営業所の位置の変更 (○)
- ③営業所ごとに配置する事業用自動車の数の変更 (×)
- ④自動車車庫の位置及び収容能力の変更 (○)
- ⑤主たる事務所の位置の変更 (×)
- ⑥休憩仮眠施設の規模の変更 (×)
- ⑦事業休止の再開 (×)

(7) 事業者は、営業所ごとの配置車両が十両を超えた場合のみ、安全統括管理者を選任しなければならない。(道路運送法第22条の2)

(×)

(8) 事業者は、事業用自動車の運転者が乗務した場合は、当該自動車の平均速度、運行距離及び運行時間を運行記録計により記録し、かつ、この記録を一年間保存しなければならない。(運輸規則第26条)

(×)

(9) 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運行ごとに、運行の開始及び終了の地点並びに日時、運行に際しての注意箇所の位置など、法令に定められた事項を記載した運行指示書を作成し、運転者に適切な指示をし、携行させなければならない。(運輸規則第28条の2)

(○)

(10) 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運送約款を変更するときは、三十日前までに届け出なければならない。(施行規則第11条)

(×)

(11) 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者が退職等により運転者でなくなった場合には、直ちに、当該運転者に係る乗務員台帳に運転者でなくなった年月日及び理由を記載し、これを三年間保管しなければならない。(運輸規則第37条第2項)

(○)

(12) 事業者は、運行管理者資格者証の返納を命ぜられ、その日から二年を経過しない者であっても運行管理を補助させるための者であれば、選任することができる。(運輸規則第47条の9)

(×)

- (13) 旅客自動車運送事業者は、事業報告書及び輸送実績報告書を毎年5月31日までに管轄する運輸支局に提出しなければならない。(旅客自動車運送事業等報告規則第2条)

(×)

- (14) 事業者は運行管理者を選任した場合に届け出なければならないが、運行管理を補助する者を選任した場合はこの限りではない。(運輸規則第68条)

(×)

【選択問題】

次の文章の () の中にあてはまる言葉を下から選び、記号を記入しなさい。

1点×17=17点

- (1) 一般旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車が転覆し、(キ)を起こしその他国土交通省令で定める(サ)を引き起こしたときは、遅滞なく事故の種類原因その他国土交通省令で定める事項を国土交通大臣に届出なければならない。(道路運送法第29条)

ア. 所有権 イ. 運行管理者 ウ. 出発地 エ. 保安基準 オ. 運行の安全
カ. 技術の向上 キ. 火災 ク. 利益 ケ. 迅速 コ. 走行距離
サ. 重大な事故 シ. 運営を適正 ス. 目的地 セ. 点検 ソ. 継続
タ. 営業所 チ. 公害の防止 ツ. 適切な時期 テ. 公共の福祉 ト. 保護
ナ. 乗務員の服務

- (2) 旅客自動車運送事業者は、毎事業年度の経過後(エ)以内に、輸送の安全に関する基本的な方針その他の輸送の安全に係る情報であって国土交通大臣が(ク)で定める事項について、インターネットの利用その他の適切な方法により(キ)しなければならない。(運輸規則第47条の7)

ア. 十五日 イ. 三十日 ウ. 六十日 エ. 百日 オ. 一年
カ. 法 キ. 公表 ク. 告示 ケ. 通達 コ. 命令
サ. 省令 シ. 報告 ス. 指導 セ. 届出 ソ. 回答

- (3) 貸切バス車両の点検整備記録簿の保存期間は、その記載の日から(A)年間と定められている。(点検基準)

A. 1 B. 3 C. 5

- (4) 旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の1日の拘束時間は13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は(A)とすること。

A. 15時間 B. 16時間 C. 17時間

- (5) 一般貸切旅客自動車運送事業の標準運送約款には、旅客は、運転者が行う運送の安全確保のための職務上の(ウ)に従わなければならないことが規定されている。

ア. 案内 イ. 命令 ウ. 指示

- (6) 一般旅客自動車運送事業者は、(イ)により、旅客の運送をしなければならない。(道路運送法14条)

ア. 車両に乗り込んだ順序 イ. 運送の申込みを受けた順序 ウ. 運賃等を支払った順序

- (7) 一般旅客自動車運送事業を営もうとする者は、国土交通大臣の(イ)を受けなければならない。(道路運送法4条)

ア. 承認 イ. 許可 ウ. 免許

- (8) 一般旅客自動車運送事業者は、一般旅客自動車運送事業の健全な発達を(イ)結果を生ずる競争をしてはならない。(道路運送法30条)

ア. 助長する イ. 阻害する ウ. 確保する

- (9) 旅客自動車運送事業運輸規則は、旅客自動車運送事業の適正な運営を確保することにより、輸送の安全及び(ウ)を図ることを目的とする。(運輸規則1条)

ア. 事業者の利便 イ. 従業員の利便 ウ. 旅客の利便

- (10) 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者等が事業用自動車の運行の業務に従事したときは、運転者等の氏名等の事項を運転者ごとに記録させ、かつ、その記録を(ウ)保存しなければならない。(運輸規則25条)

ア. 六ヶ月間 イ. 一年間 ウ. 三年間

- (11) 一般旅客自動車運送事業者の譲渡及び譲受は、国土交通大臣の(イ)を受けなければ、その効力を生じない。(道路運送法36条1項)

ア. 許可 イ. 認可 ウ. 承認

- (12) 旅客自動車運送事業者は、死傷者又は負傷者が生じた事故を引き起こした運転者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣の認定を受けた（ウ）を受けさせなければならない。（運輸規則38条）

ア．指導教育 イ．健康診断 ウ．適性診断

- (13) 貸切バスの運転者は、事業用自動車の故障等により踏切内で運行不能となったときは、速やかに旅客を誘導して退避させるとともに、（イ）に対し適切な防護措置をとらなければならない。（運輸規則第50条）

ア．旅客 イ．列車 ウ．バス

- (14) 一般貸切旅客自動車運送事業の許可を受けようとする者が旅客自動車運送事業の許可の取消しを受け、取消しの日から（オ）年を経過していない者に対しては、国土交通大臣は一般貸切旅客自動車運送事業の許可をしてはならない。（道路運送法第7条）

ア．一 イ．二 ウ．三 エ．四 オ．五

【筆記問題】

1点×3＝3点

- (1) 事業者が自動車の外側に必ず表示しなければならない事項は、使用者の氏名、名称又は記号のほか何か。1つ記入しなさい。（道路運送法第95条、道路運送法施行規則第65条）

答. 貸切

- (2) 次の文章の（ ）の中にあてはまる語句を回答しなさい。

旅客自動車運送事業者は、その運行管理者に対し、省令に掲げる業務の適確な実行及び（ ）の遵守について適切な指導監督をしなければならない。（運輸規則第48条の3）

答. 運行管理規程

- (3) 事業者は、自動車の点検をし、及び必要に応じ整備をすることにより、当該自動車を（ ）に適合するように維持しなければならない。（道路運送車両法第47条）

答. 保安基準